

山行報告書

報告書作成

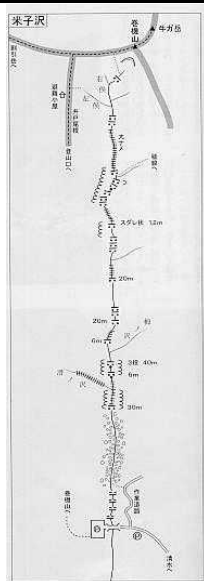
中根

| | | | |
|---------|----------------|-------|------------|
| 山名 [山域] | 越後三山、巻機山 | 目的と方法 | 夜行日帰り |
| 登山期間 | 2006年8月18日～19日 | 山行形態 | 100名山を沢で登る |
| メンバー | OAC会員2名 | | |

行動記録 8月18日20時岩津市民センター駐車場 = 153号線 = 22時飯田IC = 24時20分豊田飯山IC = 国道117-253-291経由 = 2時30分桜坂登山口着(仮眠)

8月19日6時駐車場発 - 6時10分米子沢入沢(標高760m) - 7時10分滑ノ沢分岐(995m) - 7時50分6mの滝 - 3段の滝 - 8時30分梅ノ沢分岐(1135m) - 9時すだれ状滝 - 9時30分ゴルジュに入る(1320m) - 滝連続 - 10時10分最後の滝(1400m) - 10時20分滑滝(1400m)で休憩 - 35分発 - 11時40分沢分岐(1675m) - 12時沢終点(1735m) - 12時15分発 - 12時20分避難小屋 - 30分発 - 12時50分頂上 - 13時発 - 13時15分小屋 - 30分発 - 14時35分5合目 - 15時20分登山口 - 30分発 - 16時30分津南町、しなの荘(温泉) - 17時30分発 - 18時15分飯山IC - 19時15分塩尻北IC - 20時20分飯田IC - 22時20分岡崎

概念図



野天風呂 & 内風呂



日誌

夏の連休最後は単独登山を検討していたが、YN氏の提案に便乗させて頂くことにした。Y、S氏と検討していたコースであるが一足先に行くことになる。ネット等の事前調査では岩登り2級程と聞いているが初めてのコースなので慎重な行動を取る考えで望んだ。登山口まで通常東海環状-中央道-長野道-上信越道-関越道とジグザグに行くことになるがYN氏の計画では豊田飯山ICで国道に下り、直接向かうコースで、計算したところ約100Kmも節約できることが分かった。また国道117号線は比較的曲率、アップダウンが少なく効率的に走ることが出来る。それでも登山口到着は2時を過ぎYNさんには大変お世話になった。朝明るくなると駐車場が騒々しくなり5時20分起床し急いで準備した。残念ながらヘルメットを着用したパーティーは居ないため、米子谷に向かう林道に入るがここに注意を喚起する看板がある。3つ目の堰堤の前で沢に入るが全く流れが無く、心配になるが30分ほど登ると先行パーティー(Pと略す)が見えこの辺りから序所に流れが始まる。最初の6m滝直前で休憩中のPの先になり滝に行き当たるが、この辺りは沢の幅が少なく高巻コースを取り難いので突破をすることに。ところが中々の難路で苦戦する、しかし何とか残置アンカーを見つけクリアできた。ここで3滝突破を諦め、高巻に入るがここからの高巻コースはやはり難路で最初から高巻するのが正解です。Pは我々が苦労している間に先行し、当面Pに追従させて頂くことにする。Pは東京から来た8人でガイドが先頭に初心者も2名参加していることが分かった。ここから滝の連続であるが沢幅は広く流れの横を登るコースを取り易く、殆どこの要領で登ることが出来る。先行Pは1ヶ所でザイルをフィックスしプル-シックで登ったが我々は難なく登ることが出来た。連続の滝を過ぎると滑滝に入り、周りが開けた快適な空間です。途中で沢の分岐があるが本流の方が流れが多く迷うことは有りません。標高1675m付近に最後の分岐があるがここには左に入るように標識が有り少し行くと雪渓に行き当たる。ここで避難小屋から水汲みに来た方と行き会い小屋は近いことが分かる。小屋で行動食を取った後、頂上に行き、記念撮影後、すぐに下山に入るが、中学生の集団と遭遇しペースが上がらない。登りとは別世界の暑い3時間を経験しこの山行を終了した。帰りも同じコースを選ぶが良い温泉が中々見つからず苦労の末、117号線に沿った「しなの荘」を見つけるが良い温泉でした。(地図添付)

感想

Y,S氏には申し訳ありませんでしたがYN氏の計画で念願の沢登りの体験できました、Pの方からの情報では7月には残雪が多く登れなかったそうで、今回は丁度良いタイミングと天候に恵まれたと思います。この山域でも例年に比較し残雪が多く、沢にはかなりの雪を見ました。事前の情報収集の大切さを痛感しました。今度行く機会があれば、もう少し流れの有るところを登攀したいと考えています。